

アルトの皆様

土曜日は練習お疲れ様でした。

いよいよ来週本番です。

皆さんそれぞれが苦手な箇所や注意点等確認して下さい。

また、ステージではピアノの音が遠くてテンポが遅れがちになるので、出来る限り指揮を見て合わせるようにしましょう。

そして、一致団結して素敵な演奏会にしましょうね。

では、練習日誌をお送りします。

●4月20日(土)13時30分～16時50分

●戸田文化会館5階A

●参加人数 S/11、A/13、T/2、B/5

○AVE MARIA

・4ページ「o-ra pro no-bis、 pec-cb-to-ri-bus」のクレッシェンドとデクレッシェンドをはっきりと、うねりを感じて

○Ave Verum

・24小節「Es-to no-bis」の「bis」と「prae-gus-ta-tum」の「tum」の4拍目はオルガニストさんが待ってくれるので慌てないで

○オルガン・ソロ・ミサ

○あなたのことを

○はじめり

・19小節「ある一」の4分休符は伴奏の最後のアクセントを感じて1.2.3で20小節「せなかをのぼして」に入る(指揮も必ず見る)

・42小節「ひかりが」は一音ずつしっかりアクセント付けて

・83小節「まわりつづけ」も一音ずつしっかりアクセント付けて

○雨

・最初から8分の6拍子の流れを作って、動きのない音楽にならないように(ゆったりしているが、止まらないでいつも動いている、スウィングしている感じ)

・練習番号7は再生していく強い気持ちを持って

○花

・出だしのソロ部分は応援歌の気持ちで、ビート感を持って

・87小節から最後まではテンポやブレスの位置等注意点が多いので、指揮を見て歌いましょう

### ○温かいシチュー

- ・ 59 小節「あたらしい武器を～」は自然にしゃべるような感じで
- ・ 71 小節「よー」は付点四分休符まで伸ばし過ぎない
- ・ 152 小節から 153 小節にかかる「かきまわせ」の「かき」はスピード感を持ってはっきりと
- ・ 155 小節最後の「かきまわせ」はアルトから順に次のパートにバトンを渡すように、そして、全てのパートが心の中で「かきまわせ」と歌いましょう

### ○アルデバラン

- ・ 練習番号 H は指揮を見て、しっかり拍をとり崩れないようにする
- ・ 71 小節「song」に入る前の 8 分休符がとても大事なのでちゃんと感じてとる

### ○母の手

- ・ 13 小節から「あたたかな」

が 2 度ありますが、どちらも「かな」に入るタイミングが遅れないように、4 拍目は少し早めに入る

- ・ 54 小節「ははのかたを、たたかせてもらおう」はのんびりせず、慎重になり過ぎずに嬉しい気持ちや希望を表現して、次の「ははのかたを、たたかせてもらおう」の mf から f はしっかり訴える
- ・ 69 小節「ひーがー」は mf なので固くなり過ぎずに、次の「ほんとうにくる」まで mf のまま気持ちをキープして、「よくな」でデクレッシェンド」する

### ○等圧線

- ・ 18 小節「けー」は 2 拍で切って休符を感じてから、次の「はじめての～」に入る
- ・ 58 小節「これは～」3 拍子の流れをしっかり感じて

以上です

新里♪